

白糠太陽光発電所建設工事 完成



白糠太陽光発電所全景写真

DATA

工期：H24.9.10～H26.2.28
場所：北海道白糠郡白糠町庶路甲区 釧路白糠工業団地
お客さま：(株)ユーラスエネルギー白糠
〔(株)ユーラスエネルギーホールディングス 100%出資のSPC (特別目的会社)〕
現場代理人：高知支店 工事部 工事課 酒井 寿 (写真左)
監理技術者：電気部 新エネルギー建設1グループ 佐藤 文紀 (写真右)

主な工事内容

- 太陽電池パネル設置
134,400枚
- パワーコンディショナー設置
500kW × 60台
- 66kV 連系変電設備・66kV
地中送電線ほか 1式



どのような工事ですか？

北海道・たんちょう釧路空港の南にある釧路白糠工業団地内に(株)ユーラスエネルギー白糠が約62.5万m²の用地を活用し、北海道最大級の容量32.5MW (DC) の太陽光発電事業を行うための建設工事 (EPC) です。当社は調査設計から H 鋼杭基礎、架台、太陽光パネル、パワーコンディショナー、受変電設備、送電線設備などの設置工事および試験まで一括請負工事にて実施しました。

苦労した点、工夫した点は？

設計面では、お客さまからのコスト低減と工期厳守および-30℃の環境に適應する機器仕様の要望があり、最新技術動向の調査・検討を実施し、最適な工法・機器仕様を採用しました。また、H 鋼杭採用にあたっては、現地にて試験杭による検証を実施し、架台組立は、設計時の試験施工・仮組みを行い、施工性・安全性を確保しました。

施工面では、約1,700m×400mという広大な敷地と町道 (約2,200m区間内) での作業で、多種多様な作業班による施工であることから、工事調整・安全・品質管理を求められましたが、現場内ルールの徹底など工事関係者が一丸となって乗り切りました。



雪の中での架台組立



「メガソーラーの経験を生かして」

日本初のメガソーラーである西条太陽光発電所 (1.2MW) 実証研究設備建設工事以来、四国電力(株)松山太陽光発電所、大分日揮みらいソーラー建設工事他のメガソーラー建設工事を実施し、高い技術力を培い、太陽光発電設備に係る最新技術情報を迅速かつ的確に収集するとともに、機器・材料についても各メーカーを視察するなどにより最適システムの提案、コストダウンを図った結果、客先に高く評価され、本建設工事を受注できました。
(高知支店、電気部)

北海道では初めての大規模メガソーラー 32.5MW (DC) を貴社に EPC として施工し、工期内に完成していただきました。大きな災害やトラブルもなく、この工事を当たり前の様に施工していただいた事は、これ一重に貴社の技術力はもとより、社内の管理体制の素晴らしさではないでしょうか。発注者側としてこれ程までに楽な管理をさせていただいた事は、この上ない喜びです。これからも培った技術力で日本社会の礎になる事をご祈念申し上げます。ありがとうございました。

(株)ユーラスエネルギー ジャパン 神田電気主任技術者 様

